



て、明るい未来があるものと確信しております。

また、市内にはかやぶき民家、ダム、るり溪や大堰川河畔の風景等、都市との交流を促進する観光資源が豊富にあります。市営バス路線の充実と併せ、新しい観光資源も視野に入れた整備を進めたく思っております。

南丹市にとって農林業は基幹産業であり、都市近郊といった立地を生かして、今後農林業関係者、営農指導者、JA、森林組合等の皆さま方のご意見を賜りながら地域農林業振興のための各種の施策を検討・実施していきたいと思っております。

福祉は人と人とのきずなが支えます。お年寄り、障がいのある方や子どもたちが安心して暮らせるまちづくり

南丹市の誇れるものの一つは人的資源に恵まれている点です。まず、市内にあります医療、伝統工芸、建築、看護など多様な分野の大学や短大、専門学校と市役所との連絡やネットワーク化を進めます。

また、高齢者や障がいのある方が安心して生活いただくために、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、公立南丹病院や明治鍼灸大学附属病院などの福祉・医療施設等とも連携を図りながら、福祉・医療施策の充実を図っていきたく思っております。

市民一人ひとりの命を守り、自立した生活を支援・確立する施策を推進し、「くらしやすいまち・南丹市」の実現に取り組みます。

子どもたちの輝く未来のため、子育て支援施策の充実と教育環境の整備

南丹市の子育て支援施策は、他市町村と比して、充実しておりますことは誇りでありますが、南丹市の将来を担う子どもたちのために「子育てのしやすいまち・南丹市」を目標に子育て支援施策のさらなる拡充を目指します。

また、幼・小・中・高校の公教育の教育環境を十分に整備することによって、将来を担う子どもたちを健やかに育成することが重要であります。一方、保育ニーズも多様化しておりますが、このことに対応することも行政の責務であると考えています。

私は、子どもたちにとってどうすればいいのか、何が必要なのかという視点を重視し、教育関係者、PTA、地域社会の皆さま方との論議を深めなければならぬと思っております。

乳幼時期の保育から、幼稚園、学校教育を通して、学力の向上と併せ、しつけや生活習慣等も含めた豊かな社会性を身につけることのできる環境の整備が大切であると認識しております。加えて、通園・

通学の安全の確保、通学バスの問題を含めて地域社会と共に安全対策を講じてまいりたいと思っております。

市民お一人ひとりの人権が尊重され、人間としての尊厳が守られるまちづくりを推進

今、DVや児童・高齢者虐待が社会問題となっており、また、悲しいことに今なお、さまざまな差別や偏見があるという事実には、私たちは目を背けることはできません。この解決のためには、啓蒙・啓発活動を積極的に進めていくことが大切であり、市民の皆さまとともに、新たな組織を立ち上げることが必要であります。

人権が尊重され、人間としての尊厳が守られるまちづくりを、私を始め、市役所職員が先頭に立っていかなければならないと決意しております。私は、夢と希望溢れる南丹市の実現に向け、正に命をかけ全力を尽くしますので、市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。